

# 東海村の公共交通

## Public Transportation in Tokai Village

まち・ひと・しごと創生総合戦略【第2期 2020-2024】重点的に取組む分野横断的なミッション

**先行プロジェクト『自家用車がなくても“移動（生活）”できる“まちづくり”』**

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS



### Menu

**[プロローグ] 東海村とモータリゼーション ～自家用車の普及～**

- 1.現在の公共交通網と利用状況について
- 2.これまでの取組みと公共交通網の変遷について
- 3.地域公共交通と移動手段に関する今後の戦略について

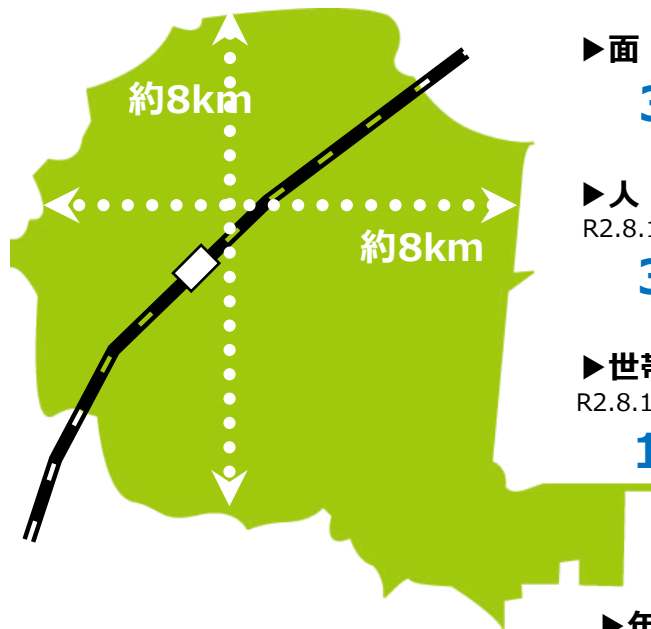
**[ワークショップ] いつもの暮らしの“あし”を考える！**

自分たちのことは自分たちで！

いつもの暮らしの「あし」を考える

ワークショップ基礎資料

# [プロローグ] 東海村とモータリゼーション① ～自家用車の普及～

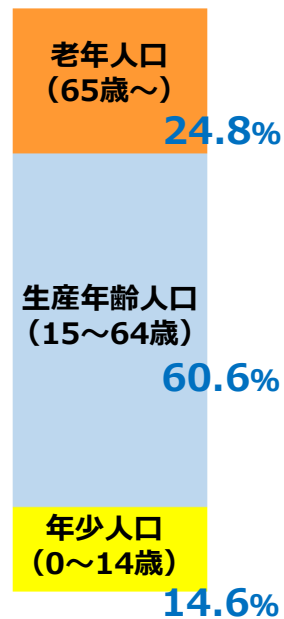


▶ 面積  
**38.00km<sup>2</sup>**

▶ 人口  
R2.8.1現在／茨城県（推計）  
**37,649人**

▶ 世帯数  
R2.8.1現在／茨城県（推計）  
**15,150世帯**

▶ 年代別人口割合  
R1.10.1現在／住民基本台帳



▶ 自然増減（出生-死亡）  
R1.10.1現在／茨城県常住人口調査

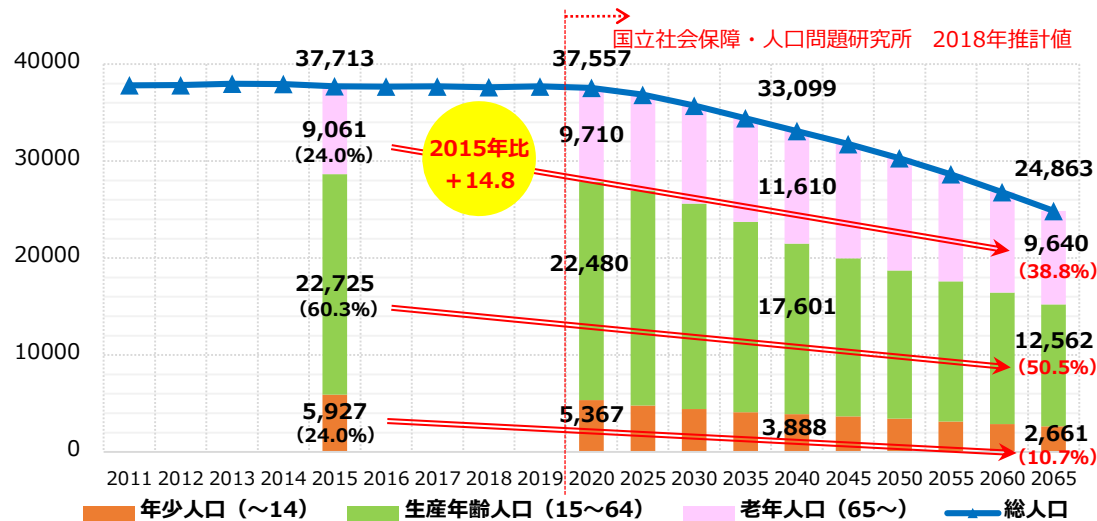
出生 **293人** 死亡 **303人** **-10人**

▶ 社会増減（転入-転出）  
R1.10.1現在／茨城県常住人口調査

転入 **1,393人** 転出 **1,377人** **+16人**

## ▶ 総人口及び年齢3区分別人口の推移

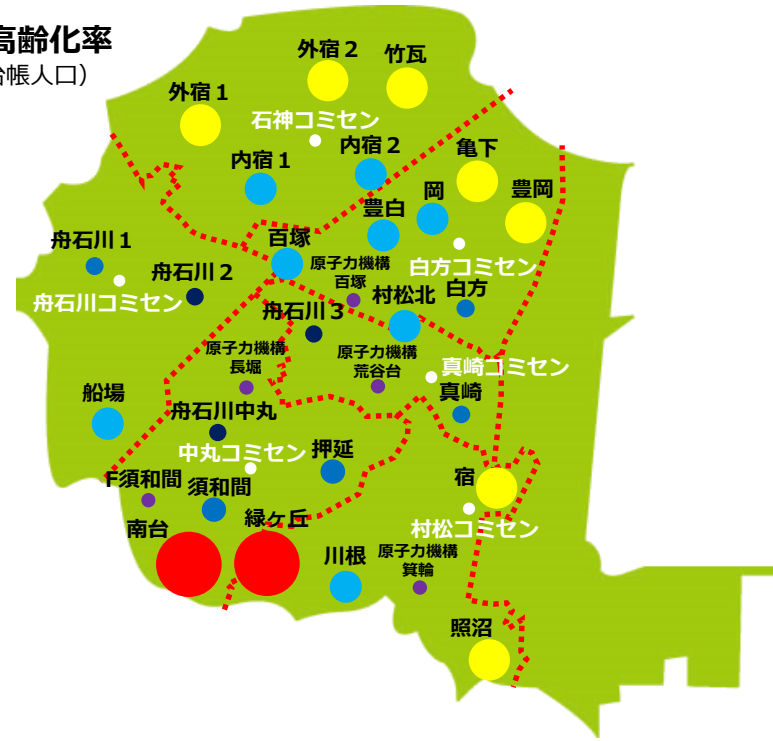
【茨城県常住人口調査（※2015年は国勢調査，2019年は月報）】，将来人口推計【社人研2018（H30）推計】



## ▶ 単位自治会ごとの高齢化率

(R1.10.1現在 住民基本台帳人口)

- 50%以上
- 40～50%
- 30～40%
- 25～30%
- 20～25%
- 10～20%
- 10%未満



## ▶車両保有台数

東海村統計書 平成28年度版

(平成27年度) **27,427台**

普通： 7,756台

小型： 8,728台

軽自動車： 10,943台

平成27年度の世帯数  
14,494で割り返すと…

**1世帯あたりの保有台数**  
**1.89台**

## ▶運転免許保有者数

交通白書 (H30.12.31現在)

**26,711人**

男性： 14,287 / 女性： 12,424

16～24歳： 1,850人

25～64歳： 18,528人

65歳以上： 6,333人

平成30年度(H30.12.1現在) の  
65歳以上の高齢者が9,457人

**65歳以上の免許保有率**  
**66.9%**

## (参考) マイカーにかかる費用

軽自動車を購入した場合、トータルでかかる費用

およそ**46,500円/月**

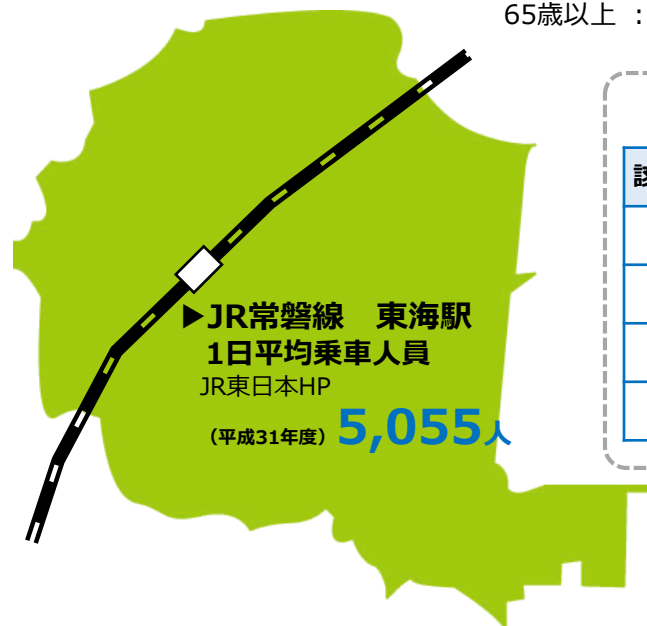
[諸経費] (3年間)

車両価格	1,020,000
税・保険・諸費用	500,000
駐車場費用	540,000
整備点検費用	80,000
燃料代	36,000
下取り費用	△500,000

[設定条件]

(交通エコロジーモビリティ財団)

月間走行距離	100km
利用頻度	5回/月
利用時間	2時間/回
駐車場費用	15,000円/月
走行費用	10円/km



▶JR常磐線 東海駅  
1日平均乗車人員  
JR東日本HP

(平成31年度) **5,055人**

## ▶交通事故発生状況

東海村統計書 平成28年度版

(平成27年度) **173件**

(死者数：0人/傷者数：231人)

## (参考) 東海村における免許返納者の推移

該当年 (1～12月)	総人数	うち65歳以上
H27年	36	35
H28年	55	54
H29年	102	101
H30年	137	136

## (参考) クルマと「事故」(一般的な数値から推測)

### ① 3分の2のドライバーが「事故でケガをさせて」しまう

\* 人身事故は年間100万件、クルマ人口(約5,000万人)から換算すると、1年で2%。これを一生(50年)のうちで「人身事故」を起こす確率にすると64%

### ② 100人のドライバーのうち1人は死亡事故を起こす

\* 交通事故で亡くなる人は、年間約10,000人。①と同じ計算をすると、一生で死亡事故を起こす確率は1%。

# 1. 現在の公共交通網と利用状況について

2015.4～現在

## 路線バス網

(民間交通事業者による運行)

(令和元年度) **78,408人**

[村支援路線]

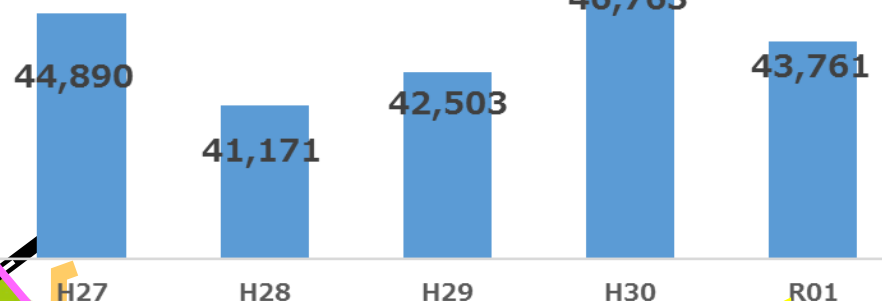
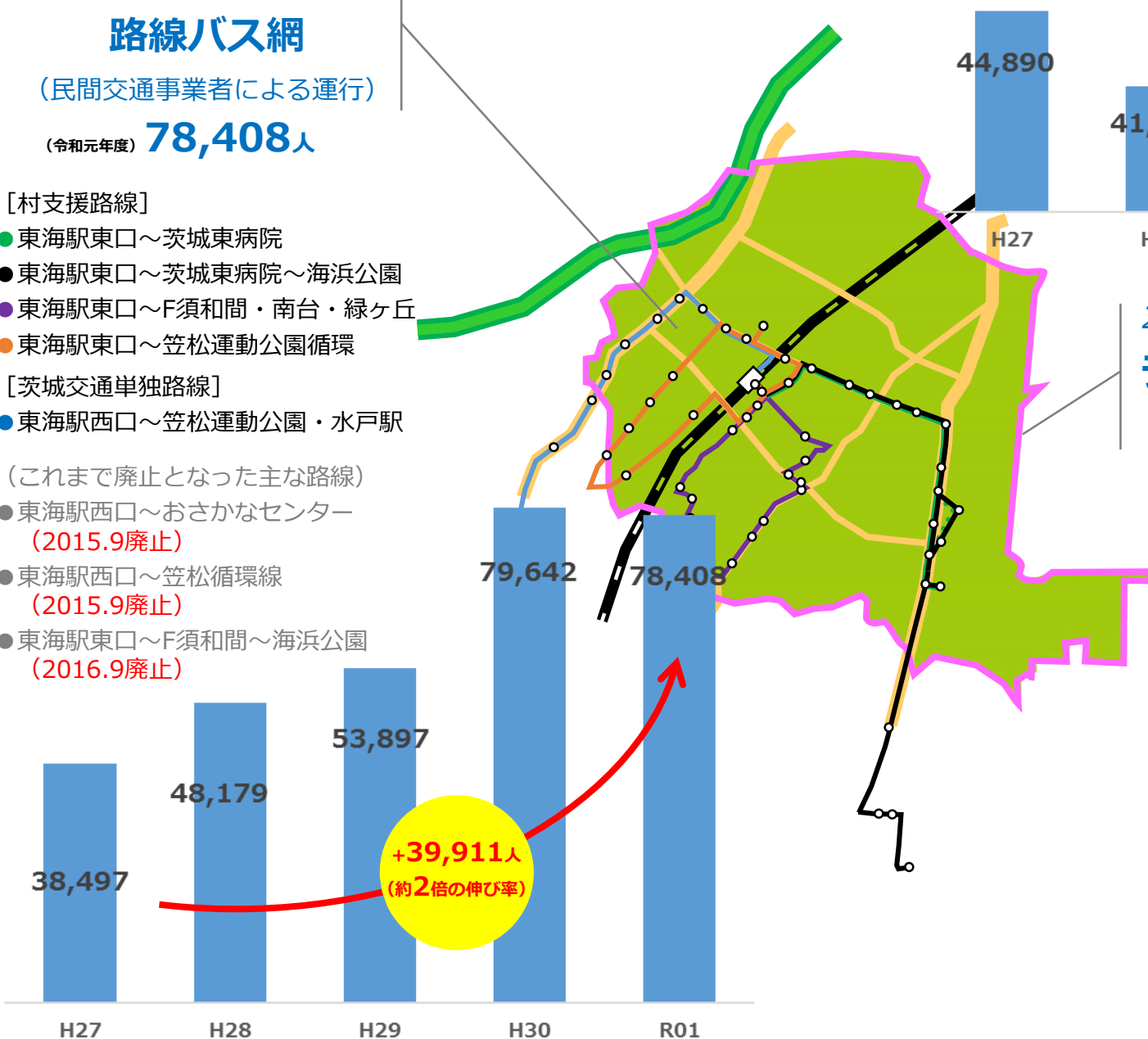
- 東海駅東口～茨城東病院
- 東海駅東口～茨城東病院～海浜公園
- 東海駅東口～F須和間・南台・緑ヶ丘
- 東海駅東口～笠松運動公園循環

[茨城交通単独路線]

- 東海駅西口～笠松運動公園・水戸駅

(これまで廃止となった主な路線)

- 東海駅西口～おさかなセンター  
(2015.9廃止)
- 東海駅西口～笠松循環線  
(2015.9廃止)
- 東海駅東口～F須和間～海浜公園  
(2016.9廃止)



2006.4～現在

## デマンドタクシー 「あいのりくん」の運行

(令和元年度) **43,761人**

▽1日の利用者数  
**151.3人**  
▽1便の利用者数  
**1.43人**

村内どこでも **ドアtoドア** で利用できる  
乗り合いタクシー

運行日 : 月曜日～土曜日  
運行時間 : (月～金) 8:00～17:00  
(土) 8:00～16:00  
運行間隔 : 30分  
運行台数 : (月～金) 6台  
(土) 4台  
※車椅子対応車両もあり  
利用料金 : 300円/回  
※一部割引制度もあり  
利用対象者 : 住民登録+事前登録  
(介助者については除く)

## 2. これまでの取組みと公共交通網の変遷について

### Stage 1 1997.7～2006.1

#### 福祉循環バスの運行

対象：交通弱者対策とするが一般住民も利用可能

料金：無料

運行：24人乗り小型バス2台で4路線を巡回

#### 【利用者・住民からの声】

「本数が少ない」

「停留所が遠い」

「目的地まで時間がかかる」

#### （参考）年度別利用者数の推移

平成10年度：17,929人／年  
平成11年度：21,067人／年  
平成12年度：21,615人／年  
平成13年度：25,146人／年  
平成14年度：25,354人／年  
平成15年度：25,713人／年  
平成16年度：34,444人／年

#### （参考）民間路線バスの廃止

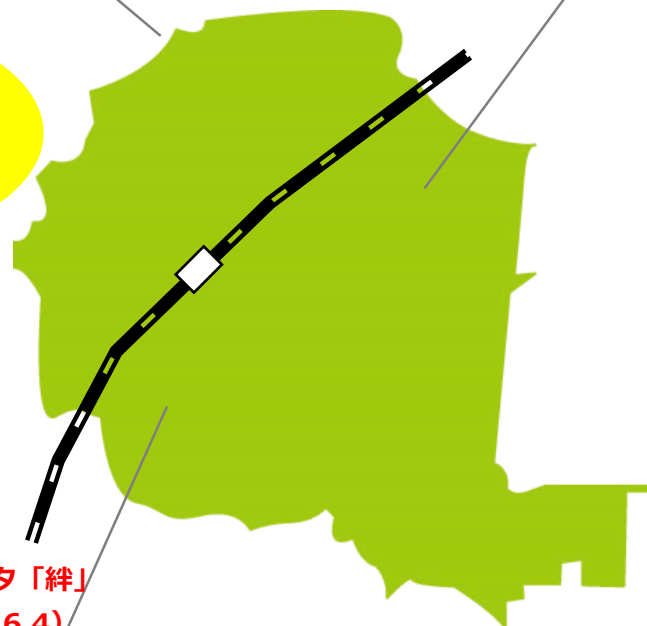
- H17. 4 3路線の廃止  
東海駅西口～那珂市方面（2路線）  
東海駅東口～ひたちなか市方面
- H18.12 1路線の廃止  
東海駅東口～F須和間～ひたちなか市方面
- H22. 7 1路線の廃止  
東海駅東口～茨城東病院

村民生活に密接した路線  
が消滅してしまった…

### NEXT Stage へ

▶ 村全域をカバーする地域公共交通

▶ 地域の特性に応じたオーダーメイドの移動手段



←総合福祉センター「絆」  
オープン（H16.4）」

### Stage2 2006.4～現在

#### デマンドタクシー 「あいのりくん」の運行

令和2年度予算（委託料）

55,939,000円

村内どこでもドアtoドアで利用できる

乗り合いタクシー

### Stage3 2015.4～現在

#### 路線バス網の拡充

（民間交通事業者による運行）

令和2年度予算（補助金）

18,000,000円

〔村支援路線〕

- 東海駅東口～茨城東病院
- 東海駅東口～茨城東病院～海浜公園
- 東海駅東口～F須和間・南台・緑ヶ丘
- 東海駅東口～笠松運動公園循環

〔茨城交通単独路線〕

- 東海駅西口～笠松運動公園・水戸駅

（これまで廃止となった主な路線）

- 東海駅西口～おさかなセンター  
（2015.9廃止）
- 東海駅西口～笠松循環線  
（2015.9廃止）
- 東海駅東口～F須和間～海浜公園  
（2016.9廃止）

▶ デマンドタクシーだけではカバー  
できない課題への対応

- 村外への移動手段の多様化
- 来村者移動手段の確保

〔平成26年度〕

- 地域公共交通の調査・研究事業（茨城大学）
- 地域公共交通会議の立ち上げ
- 地域公共交通網形成計画の策定

〔平成27年度〕

- 路線バスの実証実験を実施（H27.4～，4路線）
- 地域公共交通の調査・研究事業（茨城大学）

### 3. 地域公共交通と移動手段に関する今後の戦略について

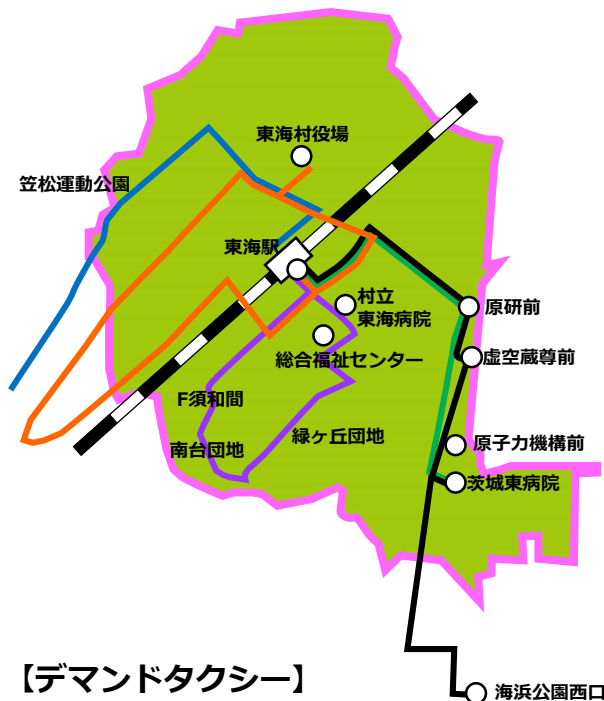
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



まち・ひと・しごと創生総合戦略【第2期 2020-2024】重点的に取組む分野横断的なミッション

先行プロジェクト『**自家用車がなくても“移動（生活）できる”まちづくり**』

現在の地域公共交通網



【デマンドタクシー】

● 村内全域カバー

【路線バス網】

- 東海駅東口～茨城東病院線
- 東海駅東口～茨城東病院・海浜公園線
- 東海駅東口～F須和間循環線
- 東海駅東口～笠松運動公園循環線
- 東海駅西口～水戸駅・茨大前営業所線

村支援路線

東海村版

MaaS の導入

利便性の向上（高度化・多様化）

新たな移動手段の導入検討（第3の公共交通）

**MaaS（マース：Mobility as a Serviceの略）**

バス、電車、タクシーからカーシェア、ライドシェア、シェアサイクルなどといったあらゆる移動手段を、IT技術を用いてシームレスに結びつけ、人々が効率よく、かつ便利に使えるようにするシステムのこと

#### ▼村の全域をカバーする地域公共交通

- デマンドタクシー「あいのりくん」
- 路線バス（茨城交通株式会社運行）

利便性の向上 高度化 効率化

ポイントは

「未来技術の導入」  
Society5.0の推進

#### ▼地域の特性に応じたオーダーメイドの移動手段

- コミュニティ・カーシェアの導入支援  
（日本カーシェアリング協会との連携・協力）
- カーシェア・サイクルシェア
- グリーンスローモビリティ
- 移動販売などに代表されるモノをヒトに運ぶサービスの提供

いつもの暮らしの“あし”  
をきっかけにこれからの  
地域づくりを考える